

# 高収益作物次期作支援交付金に関する要望

立憲民主党 農林水産部会長 田名部匡代

高収益作物次期作支援交付金は、新型コロナウイルスによる影響が更に拡大・深刻化することへの不安が蔓延する中、新型コロナウイルスの影響を受けた園芸作物の農業者が営農を断念することなく、次期作に前向きに取り組むための支援策であり、その政策目的については、評価をするものである。しかし、同交付金の創設当時は次期作の支援であったものの、政府は農業者を対象とした公募の終了後に、事実上の減収補填の制度へと見直しを行う等、2度にわたり運用を変更しており、生産現場に大きな混乱を招いている。

2度目の運用変更では、1度目の運用変更により交付金が減額又は交付されなくなる農業者のうち、10月30日までに交付金を見込んで機械や資材に投資を行った農業者に対する救済措置が盛り込まれたが、交付金の支払いを受けた後に投資を行う予定であった農業者は追加措置の対象外となるため不公平感が生じている。

また、今般の運用見直し措置によって、交付金は、事実上、新型コロナウイルスによる減収の補填を主な内容とするものとなり、持続化給付金と重複していることに加え、投資を行う予定であった農業者の多くは、次期作に対する支援を十分に受けられないままとなっている。

については、生産現場が安心して次期作の生産ができるよう、以下の事項を要望する。

## 1. 不安感を払拭する措置の導入

同一条件で同一の交付金に申請した農業者への対応が異なるものとなることは不公平であることに鑑み、1度目の運用変更以前に申請を受理されていた農業者のうち、交付金の支払いを受けた後に次期作のために機械や資材に投資を行う予定であった者に対しても、速やかに次期作に係る支援措置を講じること。

## 2. 迅速な交付と事務負担等の軽減

- ・申請農業者の営農に支障を来さないよう、申請者全員に対し、必要に応じて予備費を活用するなど速やかに交付措置を行うこと。
- ・申請農業者や事務作業を行っている農業協同組合等の事業実施主体における事務負担等の軽減や書類の提出期限について引き続き配慮し、柔軟に対応すること。

## 3. 次期作支援の再構築

次期作に前向きに取り組むための支援の重要性に鑑み、高収益作物に係る次期作を支援する措置について再構築を行い、多くの農業者が活用できる支援策を実施すること。